

1 趣 旨

本県の今後の文化振興の方向性および重点戦略等を取りまとめ、県内活動者や関係機関、市町などと協働しながら総合的・計画的に推進することにより、県民の文化力向上を図る。

2 位置づけ

- ・福井県長期ビジョンの分野別計画
- ・文化芸術基本法第7条の2に定める地域文化芸術推進基本計画

3 計画期間

5年間（令和6～10年度）

4 対象とする文化芸術の範囲

文化芸術基本法が対象とする範囲を基本として踏まえつつ、本県独自の歴史、景観、方言など、福井の文化の特性を形作る事柄を広く対象とする。

5 本県の現状と主な課題

(1) 地域の文化的環境に対する県民の満足度が低く、自ら文化芸術活動を実践している県民が少ない。

- ・地域の文化的環境に満足している割合34.3%
 - ・過去1年間に何らかの文化芸術活動(鑑賞以外)を実践・支援した割合22.3%
- (R4県民アンケートの結果)

(2) 人口減少・少子高齢に伴い、祭りや伝統芸能をはじめ、地域の文化の担い手が不足している。

- ・人口減少、少子高齢の進行(2020年76.7万人→2040年64.7万人)
 - ・文化団体の高齢化・会員減少による活動継続が困難に
- (R4文化団体へのアンケートの結果:10年前より活動者数が減少した割合88.3%)

(3) 博物館数や県民向け講座数など数値は全国と比較して上位に位置付けられるほか、図書館の個人貸出数や入館者数は全国トップであり、知的好奇心が高い県民性とそれを支える環境が整っていることが見て取れる。

しかし、人口減少・少子高齢が進み、社会環境が急激に変化していく中で、文化施設もそれらに対応し、地域の課題解決に寄与していく必要がある。

- 青少年学級・講座数:1位 成人学級・講座数:3位 女性学級・講座数:5位
 - 高齢者学級・講座数:7位 博物館数:6位 青少年教育施設数:9位
- ※すべて100万人あたり(文部科学省 社会教育調査)
- 図書館入館者数(人口比):1位 個人貸出数(人口比):1位
- (日本図書館協会 日本の図書館統計)

(4) 大交流時代に対応するため、創造性をもって福井の文化の価値を高め、世界に発信していく必要がある

- ・北陸新幹線の開通(R6)、中部縦貫自動車道の県内全線開通(R8)など、都市圏との利便性が向上する一方で、地域間競争が激化
- ・外国人宿泊者数 全国33位

6 骨子案(概要)

基本理念

みんなで創る 文化でつながる 人と地域が輝く福井

悠久の歴史に育まれた暮らしや風土、豊かな自然環境を活かしながら、文化芸術に触れ、楽しみ、自ら創造・発信する県民の主体的な活動を応援することにより、県民のウェルビーイングと地域の活力が相乗的に高まり、好循環を創出する社会を目指す

目指す姿

1 **誰もが文化芸術と触れ合い、自ら参加・創造し、心豊かに暮らす福井**



2 **みんなで地域の文化を守り、育て、未来へ引き継ぐ福井**



3 **文化芸術の新たな価値を創造・発信し、県民と訪れる人がともに楽しむ福井**



基本方針

- ① 県民主体の活動の振興
- ② 県民全ての表現・参加機会の拡大
- ③ 文化芸術を振興する次世代の育成
- ④ 地域の文化の振興
- ⑤ 文化芸術を活用した地域社会の再生と創造
- ⑥ 文化芸術による交流機会の拡大
- ⑦ 文化芸術によるクリエイティブな経済の活性化

7 政策効果を評価・検証するための指標

(5年ごとのアンケート調査などで定点観測。このほか、施策の事業量(アウトプット)を把握し、評価・検証、見直しを図る。)

指 標	現状値
過去1年の間に、芸術鑑賞以外の文化芸術活動への参加もしくはボランティアとして活動支援をした者の割合 (福井県調べ)	22.3% (R4)
地域の文化的環境に対する県民満足度 (福井県調べ)	34.3% (R4)
最近(過去10年間)の活動の傾向について、発表の機会が増えたと回答した文化団体の割合 (福井県調べ)	6.7% (R4)
過去1年間に地域文化(支援)活動に取り組んだ企業の割合 (福井県文化振興事業団調べ)	56.8% (R5)
人材データベースの登録件数(観光などに活用できる伝統芸能団体を含む) (公財)福井県文化振興事業団HP(越のルビーアーティスト含む)	75件 (R5.10末現在)

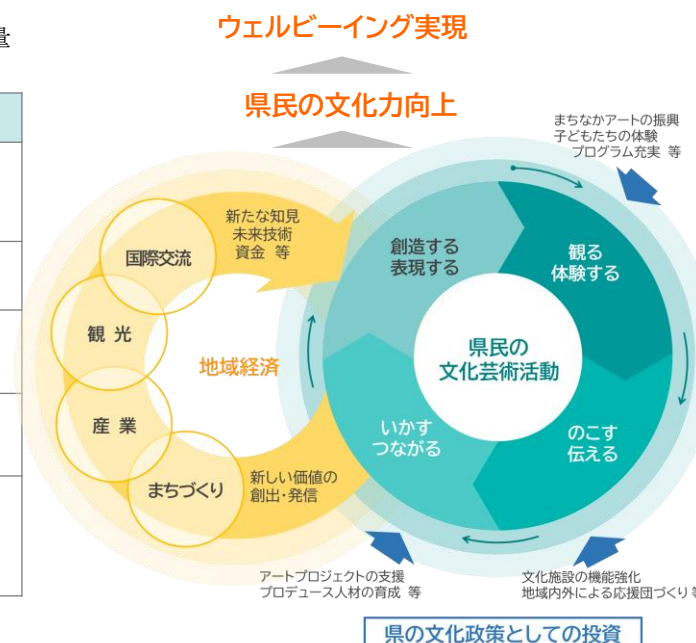
8 推進体制

県は、文化施設、市町、(公財)福井県文化振興事業団、各分野の文化団体など様々な主体と連携を図り、それぞれと課題を共有・協働しながら、文化振興施策を総合的・効果的に推進する。

また、県立文化施設の機能を拡充し、文化施設を核とした文化芸術の一層の活用を推進する。

- ・文化芸術を活用した教育、福祉、観光・地域づくり活動との連携・協働を推進するプラットフォーム(文化芸術コネクセンター(仮称))機能
- ・地域や大学と連携した地域の文化に関する調査・研究機能

<福井県における文化芸術と地域経済の好循環 イメージ図>



目指す姿 1

誰もが文化芸術と触れ合い、自ら参加・創造し、心豊かに暮らす福井



目指す姿 2

みんなで地域の文化を守り、育て、未来に引き継ぐ福井



目指す姿 3

文化芸術の新たな価値を創造・発信し、県民と訪れる人がともに楽しむ福井



主な取組み

基本方針① 県民主体の活動の振興

【文化芸術活動実践者への支援の充実】

- 吹奏楽、合唱、書道、茶道、華道、舞踊、文芸など文化団体の発表活動支援
- 市町ホール等を拠点とした新たな音楽サークル活動の支援
- 分野を超えた総合型の文化祭を通じた多様な文化の鑑賞・体験機会の拡充
- 専門人材を配置した「文化芸術コネクセンター(仮称)」による伴走型支援の充実
- 文化施設の運営サービス・利便性の一層の向上

【文化芸術活動への参加促進】

- 地域団体と連携した楽器体験会の開催等によるアマチュアプレーヤーの掘り起こし
- 「まちなかステージ」など誰もが発表できる場の拡充
- 県内アーティスト等を紹介する人材データベースの充実、活動したい県民等とのマッチング支援
- 高齢者の介護予防や健康づくり、生きがい活動の場としての文化芸術活動の促進
- 「鑑賞する力」を育む対話型鑑賞等の普及促進

基本方針② 県民全ての表現・参加機会の拡大

【多様な担い手による創造的な活動の促進】

- 文化芸術を通して多様性への理解を図る機会の一層の創出
- 福祉施設などとの連携による、アーティスト育成支援・情報発信、作品の商品化など表現活動への支援

【誰もが文化芸術に親しめる環境の整備】

- 県民が優れた音楽文化に触れる機会の提供(音楽堂や嶺南地域でのオーケストラコンサート、各地でのアウトリーチコンサートなど)
- 文化施設の長寿命化など文化的環境の維持
- 文化施設展示の多言語解説対応強化
- 文化施設の運営サービス・利便性の一層の向上 [再掲]
- (誰もがどこでも鑑賞できるデジタル鑑賞ツールの整備など)
- 文化施設と地域の連携・協働推進
- 文化施設のユニバーサルデザインの一層の推進

主な取組み

基本方針③ 文化芸術を振興する次世代の育成

【次世代の育成】

- 文化施設や学校におけるふるさと教育推進や文化施設での地域の文化を学ぶ機会の提供
- 学校教育における質の高い展覧会や公演の鑑賞機会確保
- 子どもの文化芸術体験プログラムの充実、教育機関との連携強化
- 部活動の地域移行支援による持続可能な文化芸術活動機会の確保支援(人材データベースによる紹介、県内文化団体活動への受入れなど)

【若手アーティストの育成】

- 福井ゆかりのアーティストの発表機会を創出(越のルビーアーティスト等)
- 県内アーティスト等を紹介する人材データベースの充実、活動したい県民等とのマッチング支援 [再掲]
- 分野を超えたアーティスト間の連携による新たな価値の創出

基本方針④ 地域の文化の振興

【有形・無形の文化財や文化的・歴史的景観の保存・継承】

- 国や市町と連携した文化財の計画的な指定、登録の推進
- 文化的・歴史的景観の維持向上、文化財の保存継承活動への支援
- 日本遺産など、地域の文化をストーリーで紹介する地元ガイドの養成・活用
- 方言や景観など、地域の文化のアーカイブ化推進、価値や魅力の国内外への発信強化
- 散逸する地域の重要資料の受入・保管、展示・教育普及への活用推進
- 人材データベースの充実・活用による、地域の文化を守りたい地域と関わりたい人を結ぶマッチング支援
- コンベンションなどでの伝統芸能の公開によるおもてなし促進

【地域の文化を支える人材の育成】

- 伝統工芸の後継者育成、文化財の修理技術者の育成
- 地域による地域の重要資料の保管・展示・活用支援
- 民俗芸能等の継承を地域外からも応援できる仕組みづくり

基本方針⑤ 文化芸術を活用した地域社会の再生と創造

【アートを活かしたまちなかの活性化】

- 「まちなかステージ」など誰もが発表できる場の拡充 [再掲]
- 若者文化を活用した賑わい創出への支援
- 地域活性化等につながるアートプロジェクト実践団体への支援
- まちなかや駅などへのアート活用による新しい価値の創出

【文化施設の機能拡充】

- 文化施設における地域の文化を学ぶ機会の提供 [再掲]
- 文化施設の運営サービス・利便性の一層の向上 [再掲]
- 文化施設と地域の連携・協働推進 [再掲]
- 文化施設間のネットワーク構築による各施設の利用促進

主な取組み

基本方針⑥ 文化芸術による交流機会の拡大

【地域プロジェクト型のアート活動への支援】

- アーティストサポーターによる県民主体のアート活動への伴走型支援
 - 地域活性化等につながるアートプロジェクト実践団体への支援 [再掲]
 - 専門人材を配置した「文化芸術コネクセンター(仮称)」による伴走型支援の充実 [再掲]
 - 地域のアートプロジェクトに関わるプロデューサー人材の育成・確保
- #### 【文化資源を最大限活用した文化観光の推進】
- 一乗谷朝倉氏遺跡のフィールドミュージアム化、永平寺拠点化計画に基づく、文化観光の推進
 - 北陸3県など近隣文化施設との連携テーマ展示、共同イベントの実施による広域周遊の推進
 - アーティスト・イン・レジデンスの拠点拡大、ネットワーク構築

【国際的な文化交流の充実】

- Fukuiレポーターズ等による福井の文化の魅力発信
- 地域の文化をストーリーで発信(日本遺産など) [再掲]
- 国際機関や大学等との連携による文化交流の推進
- 国際的スポーツイベント、展示会・見本市、学会等の開催にあわせた文化交流の機会創出
- 友好都市提携などの関係を活かした海外からの誘客、文化交流強化

基本方針⑦ 文化芸術によるクリエイティブな経済の活性化

【文化芸術活動応援(スポンサー)企業による活動支援の拡大】

- メセナ活動に関心のある企業のネットワークづくり、先進事例を通じたメセナ活動の意義や効果の周知
- 各事業者の評価指標、目標水準等の設定、文化分野のトップランナー制度の導入
- 他社のモデルとなる企業メセナ活動の顕彰(アワード創設)
- 県民の文化芸術活動に対するふるさと納税の活用、支援の受け皿となる基金創設

【文化芸術と地域経済の有機的な連携創出】

- 伝統工芸産地等における産業観光イベント(RENEW、千年未来工芸祭、めがねフェス等)の開催支援
- 県内アーティスト等を紹介する人材データベースの充実、活動したい県民等とのマッチング支援 [再掲]
- 伝統工芸産地と文化施設との連携による産業観光コンテンツの開発
- 県内企業とデザイナーやアーティストとのビジネスマッチングによるクリエイティブ産業の振興